

3月号

2015年 3月 20日発行



あさのがわ

みやちくじちしんこうかい 広報

宮地区自治振興会 甲賀市甲南町野川818 甲南第三地域市民センター内
電話 0748-86-8518 FAX 0748-86-8519

平成 26 年度自治振興会の活動図

通常総会
4月26日(土)

桜まつり支援
3月~4月
各 区

子ども会研修旅行
下見
4月20日

子ども会研修旅行
福井県立恐竜博物館
5月5日

平成26年度 会議録

理事会	13回
五役・部長会	11回
五役会	毎週火曜日
その他の会議	4回



- サル追い払い隊研修会(2回)・・・農林部会 7/19・12/13
- ☆防災 関係者研修会・・・安全安心部会 7/25
- △人権研修会・・・健康福祉部会 2/6
- ★特産品づくり研修会・・・農林部会 2/21

他自治振興会との交流
土山・山内との交流
信楽・小原との交流



第三小草刈りボランティア

災害時協力井戸事業 11月



宮ファミリーウォーク 11/23



第三学区運動会 9/21

わくわくフェア 12/6





平成26年度 宮地区

執行部・事務局



事務局長 中野 和彦

4年目の今年度は、「まちづくり計画書」における、中期事業の遂行のため、各部会と連携をとりながら進めて参りました。

今年は、土山・山内自治振興会から交流会の呼びかけと、信楽・小原自治振興会から、当自治振興会へ研修の依頼がありました。両自治振興会とも積極的な事業運営をしておられますので、宮地区自治振興会にとっても有効な時間になると思ひ、山内とは6月24日に、小原とは7月23日に当市民センター2階で交流会を開催しました。両自治振興会も山間の地で、特産品や獣害対策など宮地区と共通する課題を共有することができました。山内とは今後とも交流し、親睦を深めていきます。

7月から、「地域おこし協力隊」の参加依頼の話が市より自治振興会に came。五役会や理事会で何度も話し合い、市とも協議しながら来年度「地域おこし協力隊」を招き入れることになりました。8月～9月の受け入れを想定して、現在利用可能な空き家探しや、私たちが協力隊員に話すものは何か、協力隊の人との関わり方などを検討しています。同時に各区の総会の場をお借りして説明し、地域の人々に理解を求めているところです。

今年も広報「あさのがわ」を6回発行しました。地域の情報紙として、今後も続けていきます。

安全安心部会



部会長 田中 清仁

安全安心部会では安心して住める地域づくりと救急や災害発生時の備えの二点を重点的に活動を行いました。

安心して住める地域づくりでは、5月に第三小学校育友会の生活安全部の方と協力して、飛び出し注意看板の新設を4カ所、保守交換を5カ所行いました。

また今年度の新たな取り組みとして防犯灯のLED化への推進を行いました。区内の防犯のため、より明るいLED灯に、各区5カ所計25カ所の蛍光灯をLED化しました。宮地区の夜道をより安全にしていきます。

次に急病発生や災害罹災時にも対応できる備えとして、7月に滋賀県危機管理局の方を招いて滋賀県で起こりうる災害規模と地震に備える手段について学び、各区の防災担当者には宮地域にある課題と、安心して住める地域づくりについて意見交換をしていただきました。

11月には災害発生時に緊急用の生活用水を確保する事を目的として、地域の方に協力井戸の提供をお願いし水質検査の結果、各区に1カ所の非常用登録井戸を確保しました。

さらに救急時に迅速で適切な対応により命を救うため、命のバトンと医療情報記入用紙の配付を1月に行ないました。

部会では、これからも災害に強い地域づくりと安心して住める宮地区の創造を進めていきます。

農林部会



部会長 石橋 博

地域内の農業に関する課題解決のため、鳥獣害対策、農地の放棄防止、農業経営の安定化のため、特産品の開発等の研修会を開催しました。

鳥獣害対策では、7月に「サル追払い隊研修会」を開催し、県・市の害対策担当者より現状の被害状況、効果的な追払い対策の説明を受け、甲賀市のサル接近位置情報を利用し、地域をあげた有害鳥獣を寄せ付けない継続した取り組みが必要であることを感じていただきました。

また、県の事業で「家庭菜園簡易実証圃」をとりわけ被害が多い上馬杉と下馬杉の各一カ所に展示圃として設置していただき、現地研修を行いました。地域の皆様もぜひ見ていただきたいと思ひます。

12月には、「動物駆逐用煙火安全講習会」を開催し、駆逐用煙火の扱い改正に伴い、使用中の事故防止の徹底と安全使用方法について説明と実演講習を受けました。

また、特産品づくりについては2月に「特産品づくり・農地保全研修会」を開催し、宮地区に適したゴマ・里芋・んにゃく・薬草の栽培について情報提供を受け、自然を生かした木炭・竹の製造と珍しい竹製品の開発についてヒントを得ました。

今後におきまして、どの事業も継続し関係機関の指導を得ながら、地域の皆様のご理解とご協力をいただき進めていきたいと思ひます。

自治振興会の活動報告



地域振興部会



部会長 森岡 光良

地域振興部会では、10月23日市民センターにおいて、「忍にん寄席」を開催し、地元の方を中心に多数の出席者を迎えて桂坊枝さんら3名の落語の熱演に会場は大いに盛り上がり交流を深めました。

さらに、11月23日には、「宮の春夏秋冬お宝マップ」を活用し、健康福祉部会等との連携のもと上・下馬杉の名所を巡るファミリーウォークを実施しました。当日は多くの参加があり、地元の知らなかった名所を発見するいい機会となり、参加者の交流の場として有意義な一日となりました。

また、12月6日の「わくわくフェア」においては、各区やJA等関係団体のご協力を得て多数のご来場をいただきました。また、今年は例年以上に日ごろの趣味等を生かした出店をいただき、来場者の方々が感動されていました。

「宮の将来を考えるまちづくり」において、平成27年度は、地域おこし協力隊の受け入れにより地域力の維持・強化をはかっていくことに取り組むこととなりました。地域の皆様のご理解・ご協力が不可欠です。

どうかこの取り組みについて、地域の皆様方と共に前進していきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

健康福祉部会



部会長 田中 芳夫

健康福祉部会では、当会の主要事業の一つである子ども会合同の研修旅行に本年は『福井県立恐竜博物館』を見学し、化石や恐竜の実物大模型を目の当たりにして、1億2千年前の時代に子ども達とともにタイムスリップ体験をしました。

また、当日の交通混雑を考慮して出発時間を早めました事にご理解とご協力をいただき、ほぼ予定行程で事故なく終えることが出来た事に感謝致します。

本年度は、3名のお子様へのお誕生お祝いのフォトメモリアルスタンドを贈らせていただきました。

小学生の入学・卒業時にもささやかなお祝いを贈り、宮っ子の成長を地域共々願わせていただきました。

11月には、お宝マップに掲載されている名所旧跡を歩き健康づくりを兼ねた宮ファミリーウォークを実施しました。多くの方に参加していただき、昼食には鹿カレーを美味しく食べました。

子育て支援ニーズアンケート調査結果をもとに、子どもたちの登下校時の見守り制度について各種団体と検討していきたいと考えています。

文化体育部会



部会長 稲垣 昇純

文化体育部会では本年度も、運動会事業と歴史文化事業を中心に活動をしました。又、健康福祉部会、地域振興部会と共にファミリーウォークを開催させていただきました。

毎年、甲南第三学区区民運動会は、小学校と宮学区民による運動会として行われ、先生方体協役員の方には準備運営を行っていただきました。当日は、天候にも恵まれ、子供たちの走る姿に声援を送ったり、全校生徒による組体操に感動したりと楽しい一日を過ごせたのではないかと思います。来年度は、児童数も減少してしまいます。今まで以上に区民の皆様のご協力とご声援をよろしく願います。

今年度は、昨年発行した「宮のお宝マップ」をもとに他部会と共にファミリーウォークを開催したところ、たくさんの方に御参加いただきありがとうございました。この日は、伊勢廻寺、福龍寺、誓蓮寺、馬杉本城、太子堂、油日神社、島神社を巡る1日でした。普段知っていても行く機会がなかったところに行け、拝観できなかった仏像を拝観でき、参加者からは、「大変良かった」との声をいただきました。

来年度も、ファミリーウォークを開催する予定をしております。ぜひご参加ください。

さらに、「宮」の魅力を見つけられるよう活動していきたいと思っております。ご協力いただきありがとうございました。

赤ちゃん誕生 おめでとう

平成26年度中に3名の
赤ちゃんが誕生しました。

- 吉村 和晴ちゃん
7月31日生まれ (柑子)
- 石橋 風花ちゃん
1月20日生まれ (下馬杉)
- 奥嶋 いな穂ちゃん
2月19日生まれ (上野川)

宮地区自治振興会では
地域の宝の誕生を祝し
お誕生のお祝いをお
届けしました。



子供会研修旅行 5月5日こどもの日

きょうとし どうぶつえん

京都市動物園と

うずまさえいがむら

太秦映画村

詳細は対象の家庭に配布します！
沢山の参加お待ちしております。



京都市動物園は、間近で生き物を見られる動物園に衣装替え、小動物とも触れあえ、幼児からお年寄りまで楽しめる動物園です。

太秦映画村は、時代劇や忍者だけでなく、立体迷路等アトラクションも豊富、家族でゆっくり楽しめます。

非常用登録井戸

安全安心部会



南海地震や内陸型地震が近い将来に起きると報道されています。また、最近では、ゲリラ豪雨・豪雪による災害が身近に起きてても不思議でない環境となってきました。災害時にはライフラインが絶たれます。特に地下に配備された上下水道の復興には時間が必要です。自治振興会では地域の自主防災の一環として、各家の井戸の利用状況と災害時に活用できる井戸の提供を呼びかけました。

多数の提供申し込みがありました。その中から各区一カ所(左表)の井戸を水質検査しました。どの井戸も飲料水としての基準からは外れましたが、生活用水としての利用には支障のない結果が出ましたので、災害時や断水時には誰でも利用できる井戸として登録しました。どの井戸も屋内にありますのでマナーを守り利用させてもらいましょう。

今回、水質検査できなかった井戸も今後防災マップに記入し、災害時に生かせる資料とさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。



非常用登録井戸

藤川 勝也様 宅内	柑子
田中 聰徳様 宅内	下野川
増田 順一様 宅内	上野川
太田 久江様 宅内	下馬杉
藤田 吉宏様 宅内	上馬杉

編

集

後

記

今回の「あさのがわ」の編集は、自治振興会の理事の任期を終えるので、四年間二十四号目、最後の編集です。毎回々々何を掲載するか、どんなふうにかけるか、悩み続けました。紙面を埋める種がなく、カメラを持って、車で出かけたことも一度や二度ではありませぬ。つつい書かないと自分の周辺の話題で紙面を埋めてしまい、もつと他の字のこと載せないと公平やないなあと思いつつも……。本当にこの四年間は二ヶ月ごとの発行、そして継続することの大変さをひしひしと感じました。

宮地区自治振興会や「あさのがわ」を通じて、色々な人と出会い、色々な場所取材して、知らなかった場所や知らなかったことの多さと、宮地域の良さを知られたことできました。学校へ行く子どもたちの素直な明るさと出会えます。お年寄りとお話しすると人の良さや温かさを感じます。消防団や運動会では若い人の真面目に取り組み姿にたくましさを感じました。里山に棚田、どの家の庭先にも花咲きほころぶ素敵なこの地を、紹介するのが楽しみでした。

四年間「あさのがわ」をご愛読頂きました皆さん大変ありがとうございました。「あさのがわ」の一言にいつも励まされました。

自治振興会と「あさのがわ」を、今後ともよろしくお願いたします。次回からは一読者として新しい「あさのがわ」と出会うことを楽しみにしています。